

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てとでのキッズ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日		令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士等の職員を多く配置し、個別的な療育に力をいれているところが強みになっている。 多職種で話し合い、色んな視点でお子様の発達支援を行っている。	・事業所内勉強会 ・随時の研修の案内と参加 ・支援終了後の情報共有でお子様の状況や職員の課題等を随時共有している。	・職員の育成 ・勉強会などの研修の時間の確保
2	長時間療育と短時間療育とサービスの利用を選べる。 ・個別的な療育の提供(園と併用利用) ・集団生活の機会がないお子様への身辺自立・集団経験・偏食支援を取り入れた療育を行っている。	保護者のニーズやお子様の状況に合わせたサービスの提供のご案内・提供に努めている。 ・家庭での様子や集団の様子等情報共有に努め療育に反映させている。 ・管理栄養士と連携をとりながら、手作りの給食提供やお子様の摂食状況に応じた食事形態に対応している。	・職員の育成 ・勉強会などの研修の時間の確保
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保育園・幼稚園との情報共有について】 今年度は、療育で行っている様子や内容をのすべてを各園に紙で配布し情報共有を行いました。文字だけでは伝わらないというニーズも見られました。 (アンケート実施)	園が抱えている疑問や相談に対応できるようにフォームを作り、いつでも相談しやすい工夫を行ったが相談はなかった。	アンケートの結果からも、定期的な訪問や直接話を聞きたいというニーズも多かったことから、個別支援計画時には、園に訪問し立案できるような仕組みを整えていきたい。
2	【保護者のお悩み相談について】 今年度も個別相談や動画共有会などを通じてお話しできる場を作りましたが、もっと気楽に相談できる工夫が必要。	相談のしやすさやタイムリーな対応ができるような計画が必要なのではないか。	相談体制は随時対応可能となっておりますが、もっと保護者が気楽に、そして相談がなくてもふらっと立ち寄れるようなスペースを設けることでちょっと聞きたい・今聞きたいなどのお困り事相談にも対応できるような工夫を行っていきたい。
3			